

先生各位

検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、下記検査項目の内容を変更させていただきますので、ご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

《変更日》 平成 16 年 4 月 12 日（月）受付分より

《変更内容》

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.56	0880	クロストリジウム ディフィシル抗原	検査方法	ラテックス スライド凝集法	イムノクロマト グラフィー法

その他の検査内容に変更はありません

《変更理由》

クロストリジウム ディフィシル (*C.difficile*; 嫌気性菌) は抗生物質の投与等により腸管内で異常増殖し、その菌の産生する毒素により下痢や腸炎を引き起こします。

旧検査法では *c.difficile* の産生する Toxin A (腸管毒素) のみを検出していました。

最近になり Toxin A 陰性 / Toxin B (細胞毒素) 陽性菌株の存在が明らかとなってきましたので、本菌株も検出可能な検査法へ変更いたします。